



なすびの花



発行者：検査課

掲示期限：令和3年1月29日 (金)

掲示許可：総務課

2021年頭にあたり 社長のご挨拶

新年、あけましておめでとございませう。

代表取締役社長 岡本 貴利です。

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう、経験したことのないような閉塞感の中、1年が過ぎていきました。

今年は、このコロナ禍が収束し、世界が徐々にでも以前の状態に戻ることを切に願います。

当社は、今期の方針として

「個人の成長できる取り組み」

に重点を置いてほしいとお話をさせていただきました。

他社様や社会を知り、自分たちを知ること、社会の要望を認識し、社会に貢献できるモノづくり・製造サービスを提供できるEMS・OEM企業になれるよう、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

昨年引き続きのお話となりますが、昨年にご依頼を受けた製品などを見ても、皆さまが当社で行ってもらっている作業は、最終的には、社会に貢献する製品が多く、皆さまのお仕事に社会に直結する、意義のあるものが、非常に増えてきたと感じています。

情報管理上、社内の業務に関しては、守秘義務があり、名称等の詳細は伏せますが、



皆さまに製造していただいた製品が、どこかで社会の人々のお役に立っていることに、自信を持って頂ければと思います。

最後に、この一年が、皆さま、そして世界の人々にとって良い年となるよう祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和三年元旦

代表取締役社長 岡本貴利



報・連・相 (ホウレンソウ)

新しい年の始まりといふことで、今日は、仕事の基本でもある、『報・連・相』について、書いてみました。

『報・連・相』は、言わずと知れた

『報告』：指示や命令について、経過や結果を知らせること

『連絡』：関係者に情報を展開すること

『相談』：判断できないときや困った時に、周囲・上司に相談すること

の一文文字目を合わせた言葉で、『コミュニケーション』の大切さを表しています。

上司から部下への指導の時によく使う言葉ですが、横展開でも同様に「まめ」に行いたいものです。

ちゃんとしているつもりでも、意外と徹底できていないことが多いです。

「言っていなかったっけ？」

「聞いてません！」

といった場面をたまに見かけます。



情報共有と意思疎通は、業務上、とても重要なことです。

意外な情報のおかげで、他部署の業務がしやすくなることもあるかも知れません。

ミスを最小限に食い止めることにもつながります。

最近では、「報・連・相」の他に、『確認』が入った

『確・連・報(カクレンポウ)』や、『雑談』と『相談』を合わせた『ザッソウ』、困ったら・使える人に・投げる『コマツナ』、気にせず休む・苦しい時は言う・なるべく無理しない『キクナ』などの言葉も生まれているようです。

今年も、社内コミュニケーションを活発に、「まめな情報共有を心掛け、品質維持向上につなげましょう。



皆さま、新年明けましておめでとございませう。

昨年は、品質環境壁新聞「なすびの花」に温かいご支援を賜り、ありがとうございました。

今年も、皆さまと共に、明るい1年になりますように、刊行していきたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なすびの花

